



山紫水明の町

阿賀町

【プロフィール】

面 積 952.89km²
 人 口 12,230人（平成27年 7 月31日現在）
 世帯数 4,841世帯（平成27年 7 月31日現在）
 役 場 〒959-4495
 東蒲原郡阿賀町津川580番地
 T E L 0254-92-3111
 F A X 0254-92-5479
 U R L <http://www.town.aga.niigata.jp/>

【阿賀町はこんな町】

阿賀町は、新潟県の東部に位置し、新潟市から東へ磐越自動車道で約35分、一般国道49号で約60分で町の中心部に到達する距離にあり、町の東側は福島県の県境と接しています。

町の中央を阿賀野川とその支流の常浪川が流れ、それらの河岸段丘を中心に開けた山間地域です。

新潟県の7.6%をも占める広大な面積の大部分が山林であるように、周辺は急峻な山岳地帯に囲まれており、北には飯豊山、南には御神楽岳があります。



〈5月3日つがわ狐の嫁入り行列〉

また、雪椿が初めて発見（明治39年）された地であり、雪椿の保護・育成に努めるとともに、雪椿オイルを特産品として活用する等、地域資源として大切に育てています。

【町の見所】

【角神雪椿園】

鹿瀬ダムの近く、阿賀野川左岸にある雪椿園。阿賀町には広く雪椿が自生し、町の花にもなっていますが、ここは自生する原種の雪椿を保護・育成したもの。毎年4月中旬から5月上旬には約4,000m²の敷地内に数万本の雪椿が一斉に咲きそります。



【将軍杉】

スギは町の木ですが、この将軍杉は岩谷集落にある幹周り日本一の大スギで、国の天然記念物に指定されています。推定樹齢は1,400年、幹周りは19.31m、樹高約38mに達します。この名は、この地で晩年を送ったと伝えられる陸奥鎮守府将軍平維茂（たいらのこれもち）に由来し、業績を偲んだ石碑も樹下に建っています。



〔たきがしら湿原〕

かつて滝首（たきがしら）集落の水田であった地に人工的に造られた湿原です。4月から11月までの間、ミズバショウ、ニッコウキスゲなど70種類以上の植物が見られるほか、水生昆虫、野生動物、鳥類などが生息する貴重な場所になっています。休憩施設を兼ねた展望塔があるほか、湿原内には木道や東屋があり、気軽に散策が楽しめます。



〔芦沢高原ハーバルパーク〕

津川 I C の南、芦沢高原にある約 3 ha のハーブ園。ラベンダーを中心に四季折々の花が植えられており、4月から11月までの間、季節ごとの花が楽しめます。園内高台にある建物では、みつろうキャンドルづくりやソープづくりなどが体験できるほか、ハーブティやジェラートを味わいながら、雄大な自然のパノラマをお楽しみください。



〔阿賀野川ライン舟下りと奥阿賀遊覧船〕

阿賀町では、悠々と流れる阿賀野川で2つの船旅を楽しむことができます。新緑、紅葉、雪景色、季節によって変わる奥阿賀の溪谷美を船上から満喫してください。



〔8つの温泉郷〕

阿賀町には泉質の異なる8つの温泉郷があります。津川温泉、きりん山温泉、角神温泉、かのせ温泉、御神楽温泉、七福温泉、三川温泉、新三川温泉にある19の温泉施設でそれぞれのお湯と地元の素材を生かしたお食事をお楽しみください。

